

7.お客さま・沿線の皆さまへのご協力をお願い

■駅や車内でのマナー向上にご協力ください。

駅や車内でのマナー向上は鉄道事業者共通の願いであり、各社局それぞれでマナー向上に取り組んでおりますが、より効果的により多くのお客さまのご理解・ご協力をいただくため、鉄道事業者間で、または国等と連携してポスター等を製作・掲出し、ご協力をお願いしています。



目のご不自由なお客さま、お身体のご不自由なお客さまにも安心してご利用いただけるよう係員が可能な限りお声掛けや見守りを行っております。ご利用のお客さまにおかれましても、ご協力をお願いします。

■「歩きスマホ」は危険です！！

スマートフォン等を操作しながらホーム上を歩くと、他のお客さまとの接触や転倒を惹き起こす原因となり、線路内への転落につながるおそれがありますのでおやめください。



■ホーム端部の歩行は危険です！！

ホーム端部は、線路内への転落や電車との接触のおそれがあり大変危険です。できる限りホーム端から離れたところを歩行してください。また、電車が近づきましたら、ホーム上の黄線または白線の内側までお下がってください。



お客さま・沿線の皆さまへのご協力のお願い

■ホーム上の点状ブロックの上に荷物等は置かないでください



ホーム上の点状ブロックは、目のご不自由なお客さまへの重要な誘導案内用施設です。この上に立ち止まったり、荷物等を置いたりしないようにご協力をお願いします。

■線路内へは絶対に入らないでください

線路内は大変危険です。線路内へは絶対に立ち入らないようお願いいたします。誤って線路内に物を落とされた場合は、必ず駅係員にお知らせください。



■非常通報ボタンの設置駅では、異常時には同ボタンを押してください



各種・非常通報ボタン

ホームから線路内へ転落されたお客さまを発見した場合、ホーム上に設置している非常通報ボタンを押してください。ホーム上の表示灯が点灯するとともに警報音が鳴動し、駅係員および駅に接近してくる列車の運転士に異常や危険を知らせることができます。

■電車内での異常時には非常通報装置で通報してください

電車内で急病人や異常事態等が発生した場合には、各車両に設置している非常通報装置で、運転士にお知らせください。



電車内の非常通報装置

■踏切非常通報押ボタンを設置した踏切道で異常を発見した場合、同ボタンを押してください



踏切道内で自動車が脱輪したり、通行者が立往生した場合、ドライバーや通行人の方が踏切非常通報押ボタンを押すことで、踏切道に接近してくる列車に踏切内の異常や危険を知らせることができます。

お客さま・沿線の皆さま
へのご協力のお願い

- 交差点に近接する踏切道では一時停止し、必ず前方の安全を確認のうえ横断してください
- 警報機が鳴り始めたら無理な横断はしないでください

交差点に近接する踏切道を車で通行する際は、道路渋滞等により踏切道前方に十分な停車スペースがない場合があります。必ず踏切道の手前で一時停止し、その停車スペースの有無を確認して横断してください。



また、遮断桿の降下中や降下した遮断桿のくぐり抜けなど無理な横断は絶対にしないでください。

■ 踏切事故防止キャンペーン

踏切事故は、車や通行者の直前横断・無謀通行に起因するものが多いため、事故を防ぐには踏切をご利用される皆さまのご協力も欠かせません。「踏切事故防止キャンペーン」を実施し、踏切に関するルール・マナーと安全通行のご協力を呼びかけています。



踏切事故防止キャンペーン

■ ご利用されるお客様へのお願い

● 持ち込みを禁止する危険物についてご確認ください！

持ち込みを禁止する危険物について
Hazardous items that are forbidden to be brought with you

駅及び管内への危険物の持ち込みは、法令等により禁止されています。
Bringing hazardous items to the station or on the train is forbidden by law.

<p>持ち込まないもの Items you cannot bring</p> <p>可燃性液体 Flammable liquids ガソリン、灯油、軽油 など Gasoline, kerosene, light oil, etc.</p> <p>火薬類 Explosives 爆竹、ダイナマイト など Firecrackers, dynamite, etc.</p> <p>刃物 Knives, swords, etc. ナイフ、包丁、ハサミ、のこぎり、なた、鋸 など Knives, swords, scissors, saws, axes, etc.</p>	<p>持ち込みが禁止されている危険物の代表例 Examples of hazardous items prohibited aboard</p> <p>量にかかわらず持込禁止です Prohibited regardless of amount or quantity</p> <p>高圧ガス High-pressure gas プロパンガス、液化石油ガス など Propane gas, liquefied petroleum gas, etc.</p> <p>毒物・劇薬 Poisonous and highly toxic substances クロロホルム、除草剤 など Chloroform, herbicides, etc.</p>	<p>持ち込めるもの Items you can bring</p> <p>持ち込みは可能ですが、量や量に制限がある危険物の代表例 Examples of hazardous items that are allowed aboard with quantity</p> <p>日用品として小売店等で購入できる可燃性液体や高圧ガスを含む製品 Daily necessities available at retail stores that include flammable liquids or high-pressure gas</p> <p>医薬品、化粧品、医薬品、ライター、ペンキ、カセットボンベ用カセットガス など Medicine, cosmetics, medicine, lighters, paint, cassette gas, etc.</p> <p>2kgまたは2リットル以内で、中身が漏れ出ないように十分に包装されているものに限りです。 Allowed amount only 2 kg/metric tons or less and well-packed to prevent leakage</p>
---	---	---

お客様の安全のため、手荷物の点検をお願いすることがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
For your safety, we may need to inspect your baggage. Your understanding and cooperation are appreciated.

国土交通省・警察庁・東北北海道・関東日本・関東西日本・関東東海・関西日本・関西西日本・関西東海・九州・（一社）日本旅客鉄道協会・（一社）日本地下鉄協会・第三セクター鉄道事業者協会

● ご乗車の際は、車内にある非常通報ボタンの設置位置をご確認ください！

ご利用いただく皆様へのお願い
Request for all customers using our trains

ご確認ください。押してください。
Please confirm. Press the button.

鉄道に乗車した際には、非常通報ボタンが車内のどこに設置されているのかをご確認ください。
When you board a train, please confirm where the emergency alarm device is installed in the train car.

非常事態の発生を確認した場合には、躊躇することなく、非常通報ボタンを押してください。
If you are confirming that an emergency is happening, do not hesitate to press the button on the emergency alarm device.

国土交通省・警察庁・東北北海道・関東日本・関東西日本・関東東海・関西日本・関西西日本・関西東海・九州・（一社）日本旅客鉄道協会・（一社）日本地下鉄協会・第三セクター鉄道事業者協会

ご利用いただく皆様へ。
Important notice to all passengers.

鉄道会社では、警察とも連携し、駅係員や警備員などによる巡回、防犯カメラ等により警備体制を行っております。
Railway companies, in cooperation with the police, conduct security patrols by station staff and security guards, and monitor security cameras.

駅や車内で「不審者」「不審物」を疑った際には、係員または警察へご連絡ください。
If you notice any suspicious individuals or objects, please report it to our station staff or the police.

また「非常事態の発生」を確認した際には、駅・車内の「非常通報ボタン（SOSボタン）」を押してください。
In the case of an emergency, please use the Emergency Call or SOS button at the station or on the train.

車内やホーム上においては周囲の状況に充分にご注意をいただきますようお願いいたします。
Please pay close attention to your surroundings on the train and on the station.

国土交通省・警察庁・東北北海道・関東日本・関東西日本・関東東海・関西日本・関西西日本・関西東海・九州・（一社）日本旅客鉄道協会・（一社）日本地下鉄協会・第三セクター鉄道事業者協会

お客様さま・沿線の皆さまへの「ご協力」のお願い